

派遣社員 教育訓練実施計画書

株式会社丸井増井工務店

1 教育訓練の目的

派遣社員が段階的、体系的に就業に必要な技能並びに知識の習得できるように実施することで、専門性の向上や職務の幅の拡大等のキャリアアップに資することを目的とする。

2 対象者

当社が雇用する全ての派遣社員を対象とする。

3 実施内容

入職時から 1～2 年間程度は基礎的・共通的な教育訓練を中心に、業種・職種等に応じた分野別・専門的な教育訓練も必要に応じて実施する。さらに勤続年数や職歴等を踏まえて、本人のキャリアアップに資するようなスキル・知識の習得、資格の取得に向けた教育訓練の受講も支援する。また、無期雇用派遣社員については短期的な視点のみならず、中長期的なキャリア形成をより一層重視したキャリア・コンサルティングや教育訓練の実施、キャリアパスの実現を目指していく。

4 実施時期・頻度・時間

入職時の訓練も含めて、少なくとも雇用開始後 3 年間は毎年 1 回以上の教育訓練の機会を提供し、その後のキャリアの節目等の一定の期間ごとにキャリアパスに応じた研修等を実施する。実施時間については、フルタイムで 1 年以上の雇用が見込まれる派遣社員一人当たり、少なくとも最初の 3 年間は、毎年概ね 8 時間以上の教育訓練を実施する。

5 実施方法 教育訓練は以下の方法で実施する。

- ・e ラーニング
- ・派遣元社内での講座等の開催
- ・外部の専門学校との提携
- ・派遣先における OJT

6 勤務上の取り扱い

当社が指定した段階的かつ体系的な教育訓練については有給かつ無償で行い、教育訓練を受けるためにかかる交通費が派遣先との間の交通費よりも高くなる場合は、当社が交通費を負担する。

■ 派遣社員の教育訓練体系

	Step1	Step2	Step3
	派遣新人層	中 堅 層 (2 年～ 3 年)	ベテラン層 (4 年以上)
レベル感	・就業先のガイダンスや指示の下で基本的なことは実践できる。	・就業先のガイダンスや指示の下で独力で実践できる。	・就業先や職種が変わっても 独力で実践できる
テクニカル スキル研修 (入職時に テクニカル スキルの基 礎研修実 施)	●1 年目 ・その分野における基本的な知識、スキルを持っている ・就業先のガイダンスや指示の下で実践できる ・成果を上げる建設技術者（社会人）になる ・仕事のスキル、ノウハウの吸収 ・助言・指導の行動への反映 ・建設業で主体的に仕事をする姿勢 ・建設業 現代表記法の常識 ・工事関係文書作成方法を身につける ・建設業の報告、連絡、相談、基本演習 ・現場業務での 5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）基本演習 ・図面の基礎知識を学ぶ ・建設関連法令の中身、名称、読み方を知る ・社内や上司に現場情報を正しく伝える演習 ・これから 6 ヶ月間の実行計画作成 ・玉掛技能者、車両系建設機械技能者、小型移動式クレーン等、各	●2 年目 ・品質管理に関する研修 ・その分野における知識とスキルを持っている ・就業先のガイダンスや指示の下、独力で実践できる ・建設関連会社で必要な法規制の運用方法を知る ・歩掛かりの活用演習 ●3 年目 ・工事現場における実行計画の作成演習 ・資格取得、自己啓発への取り組み、スケジューリング、手順等、方法の洗い出し ・作業手順のポイント、タイムマネジメント、作業品質のレベルアップ ・作業中の無駄の見える化と改善 ・工程管理の具体的方法を学ぶ ・玉掛技能者、車両系建設機械技能者、小型移動式クレーン等、各種資格取得支援	●4 年目 ・その分野における専門的な知識・スキルを持っている ・就業先や業種が変わっても独力で実践できる ・後進への指導ができる ・施工計画に関する研修、作成演習 ・後進の手本となっている(指導できる) ・リーダーとして持つべき聴く力・示す力・気づく力を備える ・建設工作物組み立て演習 ・玉掛技能者、車両系建設機械技能者、小型移動式クレーン等、各種資格取得支援

	種資格取得支援		
ビジネスコミュニケーションスキル研修	・派遣社員で働く上での基礎知識がある ・社会人としての基本的なコミュニケーションができる ・正確に聞く、話すことができる ・派遣社員で働く上での個人情報、セキュリティ保護の基礎知識がある ・基本的な倫理観がある ・ガイダンスや指示の下で PDCA サイクルを回すことができる ・社会人としての姿勢、責任感、SNS リテラシー、モノの取扱い方、挨拶、礼儀、職場のルール ・建設現場における挨拶の大切さ	・派遣社員として適切なビジネスマナー、立ち振る舞いができる ・派遣社員として良好なコミュニケーションができる ・独力で PDCA サイクルを回すことができる ・問題解決ができる ・自立支援、素直さ、プロ意識の落とし込み	・他の職場でもリーダーシップを図ることができる ・説明のスキル、職場でのコミュニケーションによる協力体制の確立 ・厳しい内容を伝達できる人間関係の構築 ・職場内外での本音を引き出す信頼関係の構築 ・職場での根回しによる業務遂行しやすい環境の構築 ・協力的な職場環境の構築、人的ネットワークの構築
キャリア研修	・就職活動対策(履歴書・職務経歴書の書き方)、面接対策 ・雇用情勢や働き方を知る ・ライフプランとキャリアデザイン		・スキルの棚卸し、仕事への価値観 ・就職活動アクションプラン ・雇われ続ける力 ・現場管理や監督する立場としてのスキル